

4818 **パリ滞在記：喧噪後のサンラザール** 109

1日の終わりに、駅構内を散策。地上への入口・出口は多い。

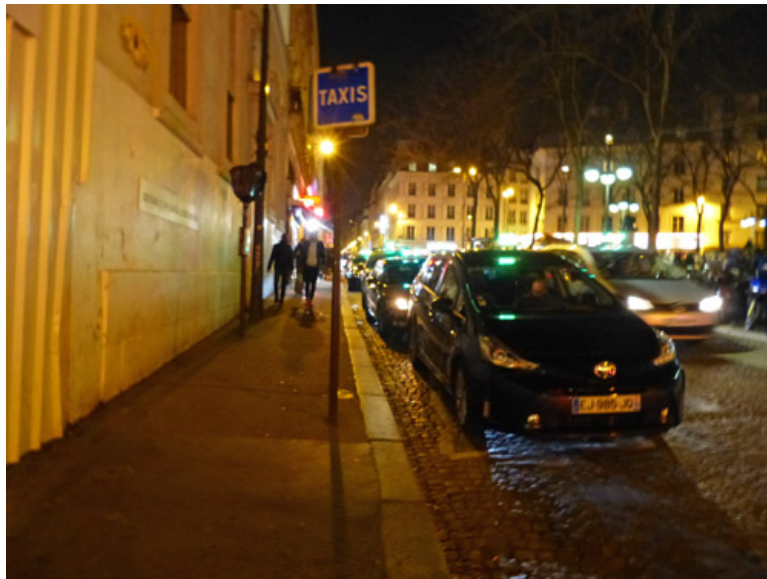
東京や大阪でも、迷うくらいだから、
地図で確認ではなく、夜と昼、時間帯、目に飛び込んでくる光景は、同じでない。
昔のイメージではなく、今の現実の光景を確認することが大切。

何しろ、危険と言われているのに、パリへのひとり旅。
夢追い人だが、幼少から、現実の直視の大切さを、嫌と言うほど、直面、体験している。
この旅の起点となる**サンラザール駅**、地元の人以上に、頭に入れておきたい。
無事なひとり旅をする、絶対条件。リスク管理。



静寂も、また一興。

最初は、こわごわだが、慣れない程度に、現実の直視。
楽しい、美しい光景ばかり発信したほうがいいのだろうが、久楽の幼少の体験から、
4歳終戦、戦後も厳しかったように思う。**皆、それが普通だった。**
今、ITとコロナ問題、時代が激変するのか、元に戻るのか、わからないが、
どんな時代に、今、生きているのか、考えるひと時。



現時点の周辺は、未知の領域。久楽には探検。状況を視察。
場所によっては、ホームレスが、長椅子であればいいのだが、地べたに寝ている。
昼間だが、親子3人。このサンラザール駅での目撃は少なかったが、
2017年末、2018年年始のフランス・**パリの現実。**

夢のある、癒しにもなれば嬉しいが、明るい画像や、元気になる画像発信であればいいが、
その時、頭の中は、そんな余裕もなかったので、記録画像が、暗くなった。
気持ちを切り替えて、頑張らないことには、始まらない。
明日は、凱旋門まで、歩きにて。今、日常の画像記録でも、目的地が同じであっても、
同じ道は通らない。未知との遭遇があるから、興味が尽きない。